

だいにぎ議会だより



地元の野菜で美味しい給食を

- 一般会計・特別会計補正予算・審議された議案…………… (2)
- 行政報告・臨時会で審議された議案…………… (3)
- 一般質問（7人が登壇し、町政を問う）…………… (4)～(10)
- 研修会報告・次回議会日程…………… (11)
- 常任委員会町内視察・議員研修視察・あとがき…………… (12)

No.
158
平成21年
7月16日

可決された議案

平成21年 第2回定例会

一般会計補正予算（主なもの）

歳入	補正額
地方交付税	4,112万2千円
国庫支出金	81万5千円
県支出金	△180万7千円
町債	100万円

歳出	補正額
消防緊急通信指令施設改修	3,600万円
えのき台住宅建設工事	125万円
茨城租税債権管理機構負担金	104万円
行財政改革推進費	58万8千円

介護保険特別会計補正予算（主なもの）

歳入	補正額
国庫支出金	17万1千円
支払基金交付	20万6千円
県支出金	8万6千円
繰入金	8万6千円
繰越金	13万7千円

歳出	補正額
健康づくりアドバイザー養成事業	68万6千円

平成21年第2回定例会が、6月2日から10日までの9日間の会期で開かれました。

平成21年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、20年度繰越計算書の報告など、町長から提出された議案3件、報告3件の他、議会常任委員会報告1件、継続審議申し出3件を、慎重審議し、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では、7人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。登壇順に4〜10ページに掲載しています。

審議された議案

- 平成20年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について
- （仮称）大子ふれあい交流センター建設事業費繰越（1億3350万円）
- 平成20年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
- 定額給付金給付事業費ほか13件の繰越（6億29万6135円）
- （仮称）大子ふれあい交流センター建設工事変更請負契約の専決処分報告について
- 施工方法の変更により492万4500円増額（増額後6億8742万4500円）
- 以上 報告済
- 平成21年度大子町一般会計補正予算（第2号）
- 補正額4113万円（補正後87億8738万5000円）
- 平成21年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 補正額68万6000円（補正後18億2648万円）
- 以上 原案可決
- 平成20年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について
- 小型動力ポンプ付積載車の取得について
- 消防車3台購入（購入金額1348万2000円）
- 平成21年度大子町一般会計補正予算（第2号）
- 補正額4113万円（補正後87億8738万5000円）



第二回定例会 行政報告

大子町の「出資団体」である財団法人大子町開発公社、奥久慈だいが築漁業組合及び大子おやき学校の事業報告と「大子町事務事業の見直しに関する懇談会」の設置について行政報告が行なわれました。

財団法人大子町開発公社事業については、955万7951円の赤字決算となりました。これは、公社の損失補償準備金・環境整備積立金の取り崩しにより対処されます。

奥久慈だいが築漁業組合事業についても、約100万円の赤字となりました。大子おやき学校事業については、137万9338円の黒字決算となりました。

「大子町事務事業の見直しに関する懇談会」は、町が行なっている事務事業の必要性の有無、継続、廃止等を検討し、具体的な見直し案を提言するものです。

出資団体決算状況

〈財団法人 大子町開発公社〉

	収入金額	支出金額	利益高	利用者数
土地開発事業	146,231円	731,277円	△ 585,046円	
大子温泉保養センター「森林の温泉」	114,275,407円	119,858,001円	△ 5,582,594円	97,963人
フォレスパ大子	75,084,188円	82,282,919円	△ 7,198,731円	60,514人
道の駅「奥久慈だいが」	130,214,037円	126,432,476円	3,781,561円	159,278人
オートキャンプ場グリーンヴィラ	85,415,288円	85,388,429円	26,859円	30,916人
合計	405,135,151円	414,693,102円	△ 9,557,951円	348,671人

	収入金額	支出金額	利益高	利用者数
奥久慈だいが築漁業組合	53,694,470円	54,698,394円	△ 1,003,924円	37,929人

	収入金額	支出金額	利益高	利用者数
大子おやき学校	28,251,546円	26,872,208円	1,379,338円	9,816人

第1回臨時会開催

第1回臨時会が、5月26日に開催され、町長から提出された議案1件、専決処分の報告4件を審議しすべて原案どおり決定しました。

◎大子町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

地方税法等の改正に伴うもの

ついて
雇用創出事業として24
25万5000円増額
(増額後 87億462
5万5000円)

以上 原案承認

◎大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

地方税法等の改正に伴うもの

◎大子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に準じ、本年6月に支給する期末・勤勉手当を0・2月分減額するもの

以上 原案可決

◎平成20年度大子町一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めることについて

定額給付金事務費を176万円増額(増額後 97億4837万8000円)

◎平成21年度大子町一般会計補正予算(第1号)の専決処分を求めることについて



少子高齢化対策の充実を

佐藤 正弘 議員



がかかるか、財政的にどこ

地域防災等について

まで対応できるかなど検討する。
子育て支援プロジェクトの中で中学校卒業までの医療費の無料化についても当然検討対象となる。

問 「子育て日本一の町」をめざし、プロジェクトチームを発足させたが、どのような施策が今後予定されているのか。

また、中学校卒業までの医療費の無料化は含まれているのか。

3月議会で「課題として検討する」と答弁したが、少子化対策、医療、福祉の充実は町長の公約でもある。施策の実施と拡大は。

答 町長

現在、実施している妊婦検診の全額無料化、町営住宅の使用料の減免、給食費の軽減などの施策を行っている。

さらに子育て支援するためには、妊娠から中学校卒業までどのくらいの経費

問 近年、地震・台風などの災害に占める高齢者が犠牲になる割合が高まっているが、高齢者、障害者の「災害時要援護者」計画は、どのようになっているか。

また、災害対策基本法、消防法に基づき町の防災訓練、庁舎の消火訓練、避難訓練等どのように計画され実施されているのか。

答 町長

問 3月議会でも質問したが、雇用問題は一段と厳しくなっている。現状と対策はどのようになっているのか。

また、町職員の管理者（課長級）の中で女性がいらないが、公務職場、民間職場でも女性は、重要な役割を果

4月1日現在で、65歳以上の高齢者は7531人、1人暮らしは812人、高齢者夫婦だけの世帯は904世帯となっている。

平成22年度を用途に避難支援プランの作成、要援護者名簿の整備など支援体制を確立していく。

庁舎の避難訓練は現在実施していない。今年の第2・四半期中に実施したい。

雇用問題について

たしている。関係法律の趣旨、人材の確保、能力の發揮からしても積極的に女性を登用すべきではないか。

答 町長

町内においても、各事業所の経営状態は大変厳しく、就業時間の短縮、会社の都合による離職者が増え

ていると聞いている。

4月から雇用創出のための事業を始めたが、今後もできるだけの努力をしていきたい。

女性管理職はここ3年で3名から6名に増やした。

人材育成には時間がかかるが、長期的な観点で女性登用を図っていく。

その他の質問

○教育委員の定数増について

○非核平和都市宣言について

○大子町の観光について



防災を担う消防職員

失業者に救いの手を

藤田友晴 議員



は大変厳しい。企業誘致も難しい中だが、福祉関係の企業が池田地区に操業することになった。

また、緊急雇用対策とし

て47名の雇用をした。

今後、中学校耐震工事、町営住宅建設等の公共事業や旧大子二高跡地を利用した東京理科大学の受け入れによる工事などの新たな雇用の創出にも期待したい。森林湖沼環境税による林業従事者の雇用確保につながる施策にも努めたい。

いっぱんしつもん

問 子ども3人（高校生2人、中学生1人）いる方が今年始めにリストラになった。教育費も大変な時期、子ども達にもなかなか言い出せなかったという。「悔しいし、苦しかった。」と思う。

現在は、初めて履く地下足袋で足の裏にマメを作り林業に従事。「仕事はきつい、働けるだけで幸せ」と言っている。国内外の経済状況は大変厳しい。

我が大子町においても失業者や週休3日、4日等働きたくとも働けない状況が続いている。

今日も助けを求めている人達がいる。町として現状認識は、今後の対応、対策は。

答 町長

現在の様子町の経済状況



山の仕事に汗を流す

消費生活相談窓口の充実

問 お年寄りを狙った高額商品販売等、悪質業者による被害が増えている。

町としても未然防止の注意や相談対応も重要ではないか。今年度末には36の

市町村で「消費生活センター」が設置される予定だが、センター設置を含め消費生活相談体制充実、強化をどのように図るのか。

消費者行政活性化基金の活用は。

答 町長

消費生活の相談は、企画観光課に担当職員を配置し

町民の相談窓口として

る。相談の専門性を高めるために職員研修に積極的に参加している。相談内容は県消費生活センターと連携し対応している。

県から消費生活センター設置の働きかけがあるが、県の消費生活相談の巡回等に対応ができるよう県に働きかける。

訪問販売等による悪徳商法からの被害防止に向け関係機関と重点的に連携をはかる。

将来の町小・中学校

教育について

問 昨今、日本の学力低下が叫ばれているが、小・中学校教育について町としてどう考えているのか。

答 教育長

学校教育は、学力向上だけでなく、考える力、判断する力、表現する力を身につけさせる。また、命の大切さ、礼儀も大切。

生徒の課題に取り組むため、社会人を取り入れた授業や、小・中学校の連続性というところで、小・中連携による取り組みを始めた。

その他の質問

○農業支援について

高速通信網整備の対応と方針は

金澤 真人 議員



速のプロードバンドについても民間主導の原則を維持しながら、関係機関と連携

大子観光やなへの 進入路の計画は

問 光ファイバーによる高速通信網の整備は地方にとって医療、産業、教育などの多方面に渡って今後必要不可欠なインフラとなってくると思われる。

答 町長 NTTや総務省が高度通信網整備に対し様々な対策を打ち出している。町としても慎重かつ大胆な対応が必要と思われるが、どの様に考えているのか。

総務省では、デジタルバイド解消戦略を取りまとめ実行している。町としてはブロードバンドのひとつであるADSLサービスが町内全てのNTT中継局管内で開始されることとなった。光ファイバーによる超高

を密にして町の実情に合った整備を図る。
また、21年度の補正予算の中の公共投資臨時交付金など町にとって有利な利用が可能な場合は、別途考える。

問 大子町内への観光客の呼び込みと町の施設の利用活性化策として、「大子観光やな」の更なる活用が望まれる。

答 町長 事業開始から20年も経過している観光やなへの大型観光バス進入路建設は早急な課題である。町としての対応と見通しはどうか。

問 県道八溝公園線と主要地方道である県道大子那須線は、大子町北部地域の発展と大子町の観光の面的拡大と、観光客の町内への滞留時間の増大のために非常

進入路は、住宅地のせまい道路を通行しているため、大型バスのみならず乗用車でもシーズン中は混雑し支障が出ている。

答 町長 地元からも別ルートの整備要望も出ているところであり、今年度路線測量設計を実施し、地元や地権者の了解を得て来年度以降工事に着手したい。

問 県道八溝公園線と主要地方道であるが、工事の状況と開通の用途は。
答 町長 八溝公園線は、9割以上が既に整備され、未改良区が615メートルになっ



進入路の整備がまたれる観光やな

いるが、土質が悪く、整備済の区間でも法面の崩落防止に手間どっている。
今後幅員等の見直しも行う、事業を進めるとの県の方針である。

問 県道大子那須線については、今年度も継続して黒沢中学校付近の工事を施工中である。

今後町としては両線を含め、大子土木工務所と連携し、関係機関に整備促進の要望をしていく。

その他の質問

○大子町の農林業について
○子育て支援プロジェクトについて

新型インフルエンザへの備えを

野内 健一 議員



問 今年の4月にメキシコ、アメリカ合衆国で確認された新型インフルエンザは、瞬く間に世界各地へその感染が広がった。

今のところ国内において症状が軽く、大きな心配は必要ないとのことであるが、今冬季に予想される第二波の感染流行と、新型インフルエンザの強毒性への変異が心配である。

先日、本町においても新型インフルエンザ対策行動計画が作成されたが、新型インフルエンザ対策の具体的な実施手順（対策マニュアル）は、どのような段階で整備されるのか。

また、役場職員への感染が確認された場合、役場の機能を維持するための「業

務継続計画」は、夏期の間
に作成すべきと思うが。

答 町長

今回出した新型インフルエンザ対策行動計画については、数年前東南アジアで発生した鳥インフルエンザ対策を想定したもので、今回のメキシコなどで発生し



保健センター

た新型インフルエンザに対しては、毒性があまり強くないとのこと、対策マニュアルを策定する必要性は、今のところないものと考えている。

町役場の機能を維持するための業務継続計画につい

障害者の方に当たり前の生活を営む支援を

問 障害者自立支援法により、本町において障害福祉計画（第二期計画）が策定されたが、第一期計画の実施中に問題となった点を解決するための改善策はどのように盛り込んだか。

次に、障害者の一般就労は思うように促進されていないが、本町としてどのような支援策をとっているのか。また、役場職員としての積極的な採用は、どの程度考えているのか。

答 町長

第一期計画の問題点は、グループホームや通所できる障害施設が少ないとか、制度内容の理解や相談支援体制が十分でない、あるいは障害者の就労の場が少な

ては、大子町では一般窓口も含めてほとんどの業務は直営で行なっているが、消防関係を除いて、現在の状況に応じた場合、その必要性がどの程度あるのか、もう少し時間をかけて検討していく。

といった点もあり、これらを解決するために今回の第二期計画では、グループホームや障害者施設の設置促進をするとともに、制度内容の普及についてはさまざまな媒体をかいして周知していく。また、相談支援体制については、専門職員の配置をめざす。

就労支援については、役場庁舎の清掃業務の委託。障害者雇用の企業誘致、役場への雇用にも努力する。

その他の質問

○地域活性化・経済危機対策臨時交付金等について

町長の町政に対する考え方は

吉成好信 議員



人事院勧告は、基本的に尊重したい。
今、5時15分から5時30分までどのくらいの方が窓口に来ているか調査している。

勤務時間中の入浴について新聞に出たのは間違いないが、記事内容は違う。日直時間内に担当者不在という報道には、職員を確認し注意した。

教育関係について

問 今年のボーナスの支給額カットはすぐ実施したのに、2008年人事院勧告で勤務時間の短縮が勧告されたが、未実施である。法の番人である町長は町民に説明して実施すべきである。

教育委員の増員に、なぜこだわるのか。現在の5人体制で現在までいくつもの学校の統合を始め頑張ってきているのに、力量不足と言うのなら失礼な考えだ。

2月19日、勤務時間内の入浴、4月29日の日直時間内の担当者不在は事実か。

答 町長 人事院勧告で、国家公務員の労働時間は7時間45分にとり勧告が出たのは承知している。

人事院勧告は、基本的に尊重したい。
今、5時15分から5時30分までどのくらいの方が窓口に来ているか調査している。

教育の充実をした町をつ

問 大子中学校の耐震二次診断結果がでたが、IS値は校舎、体育館とも0・3未満であった、判定書のとおりコンクリート推定基準強度が基準値以上であったことから耐震補強及び大規模改造により耐震性能を保つことが可能という判定となったが対応策はどうするのか。

町長は、あいさつ等で小中一貫校と言っているが併設校の考えではなかったか。
新型インフルエンザに伴う中学生修学旅行のキャンセル料金は全額町負担で。

答 教育長

くって行きたいので、教育委員を含めた教育体制の充実を図っていきたい。町長選挙の際の公約の一つでもある。

大子中学校の耐震対応策ということであるが、IS値0・3未満ということであった。耐震構造上、コンクリートの強度が極めて不適格な10ニュートン毎平方ミリメートルという指標を大きく超えており、耐震補強基本計画によって補強が可能だという結果が出た。

したがって判定会議から示されたとおり耐震化を進める。

新型インフルエンザに伴う修学旅行のキャンセル料は町で負担する。

情報産業の確立 (光ファイバー通信)について

問 大子町ブロードバンド誘致委員会での取り組み特に県北未整備地域の国から

の財政支援、整備推進は。

答 町長

8月に佐原地区内において



耐震2次診断結果が出た大子中学校

てADSLのサービスが開始される。
光ケーブルの整備は、事業主体は民間主導の原則を維持し関連機関と連携を密にしてい。

その他の質問

○山田ふるさと農園のその後について

○耕作放棄農地について

自然環境を守る浄化槽の整備を

齋藤 忠一 議員



問 河川や湖沼の水質汚濁の原因として、生活排水が大きな環境問題となっている。

町では、平成18年度より大子町生活排水処理基本計画を作り浄化槽の整備に着手したが、目標を大きく下回っている。

見直される農業で

新たな雇用対策を

問 今、日本全体が不況の波にさらされており、それに伴い雇用の問題は大変深刻である。

これから就職活動をする学生にとっても大変厳しい年になると聞いている。

最近、様々なところで、農業分野への就職、さらに

現状と、今後の整備促進をどのように進めてゆくの

答 町長

浄化槽の整備状況は、新しい町の制度で始まったものが23%に過ぎず、今後努力していく。

推進策として、指名競争入札だけでなく、建て主の希望で業者と町の随意契約も可能とした。この方法を周知することにより、設置者が増えることを期待している。

は、転職が目立つようになった。

大子町の基幹産業は農林業である。この機会に学校と町で連携し、1人でも多く卒業生が町に残り、就職あるいは新しい農業分野に進めるように働きかけ、さらには、支援は出来ない

か。

答 町長

世界は、大変な不景気、不況の真っ只中で、大学・高校生の就職活動は、非常に厳しさを増している。

大子清流高校でも例外ではなく、毎年進路指導担当と情報を共有しながら、企業訪問等を行い、地元企業、地場産業への就職の働

きかけを行なっている。

高校生が地元で就職できることは、若者の流出を

民意を反映できるか

第五次総合計画

問

今年度、第五次総合計画を策定中であるが、これからの10年間は、大子町にとっては大きな転換期である

止める上でも非常に大きいので、さらに努力をしていく。

と思う。

少子高齢化、そして過疎化が進む中、策定にあたりスピードのある計画が望まれる。

町長は、どのように民意を反映させ、実行するのか。

答 町長

第五次総合計画は、住民意識調査の回収率は65%で、町政への関心の高さが現れている。

分析結果は、完了次第広く町民へ知らせる。地区別懇談会を実施しているが、町民の意識を最大限反映させていく。

その他の質問

- 子育て支援について
- 消防施設について
- 経済危機対策について
- 危機管理について



合併浄化槽の整備促進

大子中学校の耐震化の方針は

大森 勝夫 議員



問 大子中学校の耐震二次診断の結果が報告された。

判定値は校舎、体育館いずれも0・3未満という低い値であった。一般的に値0・3未満であれば建て替える必要があるが、コンクリートの推定基準強度が基準値以上であった。よって耐震補強などにより耐震性能を保つことが可能との判定が報告された。

答 大子中学校校舎は完成後40年が経過し老朽の部類に入る。新たに建て替えたほうが長期的には負担が少ないのか、耐震化工事により将来長期にわたり継続使用すべきか判断の分かれるところだが、町の方針は。

答 教育長 判定数値や建築後の経過

年数を考慮すれば、取り壊して新たに建てる方法が耐震上最強の選択であるとは思う。

しかし、判定結果は、耐震補強工事により強度を保

交付金による

光通信の整備の考えは

問 地方こそ情報基盤の整備が必要だと思う。近く情報基盤整備のための交付金が予定されているという。

これを機会に大子町の光ケーブル通信網の整備を進めるべきと思うが、町長の考えは。

答 町長

光通信の環境を整備して

アウトドア・スポーツによる

取り組み

問 アウトドア・スポーツにより町の活性化を進めているが、町の北部や八溝山

地区が賑わうことで観光バ

つことが可能であると報告された。コンクリートの強度が高かったからである。

町の財政的な観点から考慮して建て替えることは困難と考える。

安全性のみならず、今後の教育に対応できるような校舎の改修を進めるべきと考える。

も、契約件数が少なかった場合、維持経費が町負担になるケースがある。国の交付金についても町の負担ができるだけ少なくなるように検討している。

町の実情に合わせた方針を検討したうえで、光通信の整備を進めていきたい。

答 町長

八溝川の溪流釣り大会、日輪寺や八溝神社の祭礼など、広く知られた観光客の集まる行事がある。

都市住民と地元住民との交流事業として、農業体験なども行なっている。八溝方面の自然は魅力が多いので、環境整備や広報に今後



夏の久慈川と男体山

も力を入れていきたい。蛍の見える川は、都会の方には魅力的だと思う。昔の河川は蛍の繁殖に適していたが、河川改修で蛍の繁殖に難しい川が増えてしまった。

都市住民や観光客の誘致に蛍が大きな力になるのなら、機会があれば検討する。

後期高齢者医療広域連合

議会副議長に益子英明議員



6月26日茨城県後期高齢

者医療広域連合議会臨時会
が開催され、大子町議会選
出の益子英明議員が副議長
に就任いたしました。
この議会は、県内の市町
村議会議員から選出された
議員で構成されています。

全国議長・副議長研修会

主催 全国町村議会議長会

5月19・20日東京におい
て町村議会議長・副議長研
修会が開催され、益子議
長・佐川副議長が参加しま
した。

るべき議会像を求めてくわ
が議会の活性化実践例」が
実施されました。
今後の議員活動・議会運
営の中で生かされます。

1日目は、「日本の再生
のための政治と自治」と題
する東京大学大学院教授
姜尚中氏の講演を皮切りに
地域産業の振興策や自治の
哲学・戦略をテーマに研修
講演が行われました。
2日目は、成蹊大学名誉
教授佐藤竺氏が「基礎自治
体のあり方と今後の町村議
会」と題した基調講演を行
ないました。

続いてシンポジウム「あ



わかりやすい議会をめざして

6月定例会開会中、北茨
城市議会を訪れ、一般質問
の状況を傍聴し研修しま
いました。
一般質問とは、定例議会
において議員が執行部に対
し、町政に係る事務等につ
いて事実や所信をたずねる
であります。

く、議員と執行部がより詳
細に納得のゆくまでの問答
が展開され、よりわかりや
すい議会運営が図られるこ
とが期待できます。
本町議会でも実施に向け
検討いたします。
議会運営委員長
小林 秀次

利点は質問
回数に制限な

て1時間、質
問回数は3回
と定めて実施
しております
が、近年他自
治体において
時間内であら
ば何回でも質
問できる一問
一答の方式が
採り入れられ
ており、北茨
城市議会も昨
年から問答そ
れぞれ30分
の一問一答式
で実施して
います。



第3回定例会会期日程（予定）

月日	曜日	会議	付記
9月2日	水	本会議	開会、議案の概要説明等
9月3日	木	休会	自宅審議
9月4日	金	休会	自宅審議
9月5日	土	休会	自宅審議
9月6日	日	休会	自宅審議
9月7日	月	本会議	一般質問
9月8日	火	本会議	一般質問
9月9日	水	本会議	逐条審議
9月10日	木	本会議	逐条審議、閉会

※日程等についての詳しいお問い合わせは、議会事務局まで
お願いします。(☎72-1115)

大子町議会 広報委員会

- 委員長 佐川利夫
- 委員 藤田晴夫
- 委員 大森勝一
- 委員 齋藤忠弘
- 委員 佐藤正一
- 委員 鈴木陸
- 委員 藤田健
- 委員 益子英明

議会を傍聴してみませんか？

定例会・臨時会は、誰でも傍聴することが
できます。議会傍聴は町政を知るよ
い機会です。
お気軽にお出かけください。
手続きは役場3階の傍聴席で受付簿に住
所、氏名を記入するだけです。

常任委員会 町内視察

7月9日だいでご小学校、(仮称)ふれあい交流センター、学校給食センター及び東京理科大研修施設を視察をしました。

8月1日オープン

東京理科大学研修施設

東京理科大学研修センターの誘致は、世田谷との交流事業に端を発したもので、長い間交流事業に携わっている関係者の皆様のご努力に敬意を表します。

大子町と東京理科大学との関係をより

一層充実させ、町発展のためのサポーターとして力添えをいただけるよう期待いたします。

総務委員長
野内 健一

建設進む

(仮称)ふれあい交流センター

建設現場に入った途端、大きなクレー



ンが、高さ約20Mくらいの屋上付近へ資材を上げていた。大ホールの原型があらわになってきており、なんとも言いえない躍動感がうかがえた。

これから大切なことは、いかに町民に利用されるか、さらには文化の発信基地としていかに活用していくかを、身をもって感じました。



産業建設副委員長
齋藤 忠一

楽しい外国語授業

英語が必修となる小学5・6年生を対象に、英語の授業が始まりました。

「だいでご小学校」での授業を参観しました。会話を中心に行なわれており、特に絵やカルタを使って、にこやかに、真剣に、楽しく授業を受けていました。

年間指導計画では、35時間で活動のねらいが示されています。国際化時代に対応できる児童達の成長に期待したい。

文教厚生委員
吉成 好信



おもてなしの心が大切

議員研修視察

6月25日～26日議員研修視察で、風光明媚の地、鴨川市を訪ねた。ここには、5つの大学関連施設がある。

城西国際大学安房キャンパスは、太平洋を一望に見渡す山の中腹にある。

4年前、観光学部を創設し現在に至っている。創設の理由として、これからの世界的な低成長時代に一番対応できる産業として、観光産業であるとの結果から

である。国際的な観光事業に貢献できる人材の育成を図るためにコミュニケーション、語学力、企画力、創造力、実践力を重点として教育にあたっているという。

鴨川市は、学園の町づくり通信等も発行しているが、5大学との連携事業によってさまざまな分野において交流を進め、町づくりを行なっている。

日蓮の誕生寺をはじめ鯛の浦、美しい海岸線や大山千枚田の棚田等がある。



り、海水浴客を含め年間450万人もの観光客が訪れる。自然環境のみでなく学生達の若い力・知識・高い感性を生かした町づくりの成果だという思いがした。

説明を受けた中で一番力を入れて聞かせて頂いた言葉は、観光に大切なのは「おもてなしの心」であると語ってくれたことである。

私達を迎えてくれたとき、見送ってくれたとき、関係者の礼儀作法に本当のおもてなしの心を感じた。

広報委員 藤田 健

あとがき

今年の夏、日本で46年ぶりとなる皆既日食が起きました。大子は天候に恵まれず、部分日食を観察された方は僅かだったのではないのでしょうか。

太陽、月、地球の三つの星が一つに重なる日食は、星の軌跡が重なり合う奇跡とも言えます。

私達が地球に生まれ大子町に生き、知り合いになることも奇跡に近い人生の軌跡なのかも知れません。

いま、町の未来を想うとき、奇跡を願うより確実な未来への探求を続けることが、議員としての努めではないだろうか。この夏の太陽系のドラマが、議員活動1年の軌跡を省みるよい機会を与えてくれました。

(広報委員 大森勝夫)

今回の表紙

学校給食センターでは、地元食材を20品目使用しています。

(藤田 稔 議員撮影)